

令和7年度 第2回鎌倉市国民健康保険運営協議会会議次第

日 時 令和7年8月28日（木）

午後3時30分から

場 所 商工会議所102会議室

議 題

- (1) 令和6年度鎌倉市国民健康保険特別会計決算について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1-1～1-4

- (2) 国民健康保健事業について

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

- (3) その他

資料1-1 令和6年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算概要

資料1-2 令和6年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳入執行状況
(総括表)

資料1-3 令和6年度鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳出執行状況
(総括表)

資料1-4 被保険者一人当りの諸費の推移

資料2 国民健康保険の保健事業の令和6年度実績及び令和7年度の実施予定

国民健康保険運営協議会委員名簿

(敬称省略)

区 分	氏 名	備 考
被保険者代表	友松 由紀子	
〃	内田 由紀	
〃	中本 淳子	
〃	松村 俊樹	
〃	千代 美和子	
医療担当代表	山口 泰	
〃	倉岡 隆	
〃	山内 由光	
〃	島田 博	
〃	金林 茂	
公 益 代 表	酒井 捷允	会長
〃	吉中 季子	
〃	松宮 さきく	
〃	近内 美乃里	副会長
〃	笠間 玲子	
被用者保険等 被保険者代表	阿部 美弥子	

令和6年度 鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算概要

健康福祉部保険年金課

歳入		千円
国民健康保険料	4,200,530	25.45%
国庫支出金	20,276	0.05%
県支出金	10,526,337	63.78%
繰入金	1,551,435	9.40%
その他	204,320	1.24%
合 計	16,502,898	

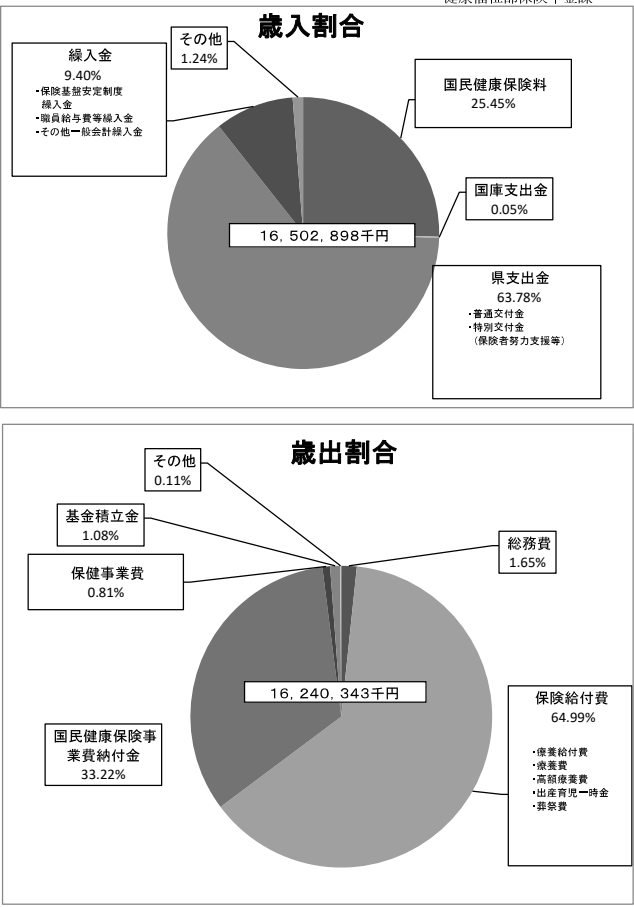
(その他内訳)	
繰越金	175,511
諸収入	28,140
財産収入	669
一部負担金	0

歳出		千円	
総務費		268,668	1.65%
保険給付費		10,251,404	64.99%
国民健康保険事業費納付金		5,395,561	33.22%
保健事業費		131,156	0.81%
基金積立金		176,180	1.08%
その他		17,374	0.11%
合 計		16,240,343	

(その他内訳)	
諸支出金	17,374
予備費	0

差引金額（歳入－歳出）	262,555
-------------	---------

※千円未満の金額は四捨五入又は切り上げ、切り捨てにより調整しています。



【歳入】

資料 1-2

令和 6 年度 鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳入執行状況（総括表）

（単位：円）

款	令和5年度 収入済額	令和6年度							
		予 算 現 額			調定額	収入済額		不 納 欠損額	収入未済額
		当初予算額	補正予算額	計			対前年比(%)		
5 国民健康保険料	4,211,911,335	4,000,294,000	36,045,000	4,036,339,000	4,702,640,488	4,200,530,097 保険料収納率(94.61%)	△ 0.3	98,535,517	403,574,874
10 一部負担金	0	2,000	0	2,000	0	0	0.0	0	0
20 国庫支出金	600,000	19,188,000	1,107,000	20,295,000	20,276,000	20,276,000	3,279.3	0	0
30 県支出金	10,918,640,286	11,093,543,000	△ 55,670,000	11,037,873,000	10,526,336,517	10,526,336,517	△ 3.6	0	0
38 財産収入	163,265	722,000	0	722,000	669,271	669,271	309.9	0	0
40 繰入金	1,547,280,476	1,691,317,000	△ 133,502,000	1,557,815,000	1,551,435,127	1,551,435,127	0.3	0	0
45 繰越金	201,981,709	2,000,000	173,511,000	175,511,000	175,510,784	175,510,784	△ 13.1	0	0
50 諸収入	43,841,673	16,034,000	△ 3,000,000	13,034,000	28,140,392	28,140,392	△ 35.8	0	0
合 計	16,924,418,744	16,823,100,000	18,491,000	16,841,591,000	17,005,008,579	16,502,898,188	△ 2.5	98,535,517	403,574,874

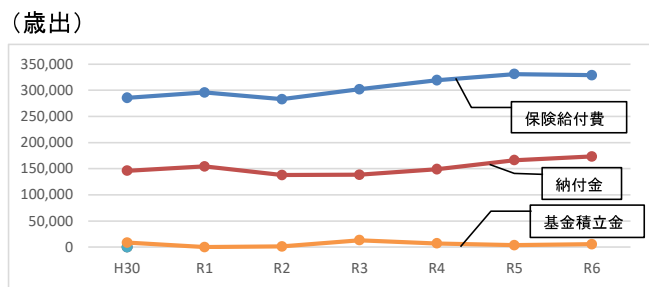
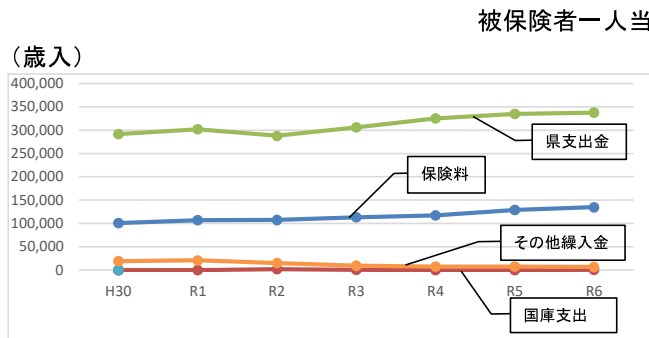
【歳出】

資料 1－3

令和 6 年度 鎌倉市国民健康保険事業特別会計決算歳出執行状況（総括表）

（単位：円）

款	令和5年度 執行済額	令和6年度								
		予 算 現 額					執行済額	翌年度 繰越額	執行未済額	
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越金	予備費充用額 及び流用額	計				
							対前年比(%)			
5 総務費	245,115,079	445,152,000	△ 148,916,000	0	0	296,236,000	268,668,392	9.6	0	27,567,608
10 保険給付費	10,796,491,904	10,785,390,000	△ 10,004,000	0	0	10,775,386,000	10,251,404,226	△ 5.0	0	523,981,774
11 国民健康保険事業費納付金	5,425,790,064	5,395,563,000	0	0	0	5,395,563,000	5,395,560,708	△ 0.6	0	2,292
20 共同事業拠出金	390	0	0	0	0	0	0	△ 100.0	0	0
25 保健事業費	140,112,029	168,073,000	0	0	0	168,073,000	131,155,740	△ 6.4	0	36,917,260
27 基金積立金	130,163,265	722,000	175,511,000	0	0	176,233,000	176,180,055	35.4	0	52,945
30 諸支出金	11,235,229	18,200,000	1,900,000	0	0	20,100,000	17,374,208	54.6	0	2,725,792
35 予備費	0	10,000,000	0	0	0	10,000,000	0	0.0	0	10,000,000
合 計	16,748,907,960	16,823,100,000	18,491,000	0	0	16,841,591,000	16,240,343,329	△ 3.0	0	601,247,671



【用語説明及び概要】	
保険料	国保加入者の所得や人数に応じて世帯単位で決まる。医療保険分、後期高齢者支援分、介護保険分からなる。 ⇒一人当たり保険料額は対前年4.4%の増。
国庫支出金	災害臨時特例補助金 被保険者証廃止に伴うマイナ保険証対応のシステム改修経費
県支出金	平成30年度の制度改革により市単独事業以外の医療費を賄うこととなった。普通交付金が医療費分、特別交付金が保険者努力支援分等となる。
その他一般会計繰入金	給付費等の不足分や各歳入予算科目における収入不足分を補填するために鎌倉市の一般会計から繰入れたもの。 ⇒一人当たり対前年11.4%の減。

【参考】被保険者数(年度平均)の推移							資料 1-4
単位: 人							
H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年度比
39,146	37,284	36,358	35,773	34,311	32,616	31,166	-4.4%
単位: 円							

被保険者一人当りの諸費の推移（歳入）								
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年度比
保険料	100,798	106,819	107,673	113,597	117,099	129,136	134,779	4.4%
国庫支出金	6	25	1,743	263	12	18	651	3514.3%
県支出金	291,658	302,043	288,103	306,274	325,144	334,763	337,751	0.9%
その他一般会計繰入金	19,218	20,855	15,094	9,335	7,467	7,242	6,417	-11.4%

被保険者一人当りの諸費の推移（歳出）								
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年度比
保険給付費	285,437	295,896	282,690	301,878	319,460	331,018	328,929	-0.6%
国民健康保険事業費納付金	146,069	154,568	138,104	138,357	149,048	166,354	173,123	4.1%
基金積立金	8,752	0	1,375.0	13,167.0	6,954.0	3,990.8	5,653.0	41.6%

保険給付費	一般被保険者に係る医療費など療養給付費等の経費。平成30年度以降は制度改革により、市単独事業以外は県が賄う。 ⇒一人当たりでは対前年0.6%減。
国民健康保険事業費納付金	平成30年度の制度改革により新設。財政上の責任主体である都道府県に納めるもの。

(資料2) 国民健康保険の保健事業の令和6年度実績及び令和7年度の実施予定

事業名	事業名（詳細）	令和6年度の実績		令和7年度の実施予定	
		実施内容	R 6 実績 (特定保健指導データ：R7.7.1現在)	実施方法及び変更点	目標値
1 特定健診 受診率向上対策 【特定健診受診率】 R6 35.3% R5 35.9% R4 35.5% (法定報告値) (R6については、 R7.7.30時点)	(1) 【継続】 受診勧奨（40歳）	初めて特定健診の対象となる40歳の方へ、受診勧奨のはがきを 送付（R4でアンケート終了）	送付数 328名 受診者数 46名 (14.0%)	【継続実施】 年3回6月、8月、11月の受 診券発送前後	対象者全員
	(2) 【継続】 様々な機会を利用した受 診勧奨	①受診券同封物 ②かかりつけ医から勧奨チラシを配付 ③薬局から勧奨チラシを配付	①受診対象者 22,043名 (R7.6.26時点) ②チラシ作成部数 5,000部 ③77薬局、各50部 (配付はR6.9月)	【継続実施】 ①受診券発送時 ②③通年実施	①受診者全員 ②医療機関用 5,000部 ③薬局 5,000部
	(3) 【継続】 勧奨通知の送付	特定健診未受診者について、年齢区分を3つに分けて勧奨はがき を送付した。（41～59歳、60～69歳、70～74歳） 年齢区分により効果的な勧奨通知となるよう、過去のAIを活用し た勧奨通知の文言を参考に作成した。	年2回 10月 勧奨対象者12,140名 12月 勧奨対象者12,967名	【継続実施】 往復はがきによる勧奨通知を 発送し、特定健診の実施に係 るアンケートを返信してもら う。	【特定健診受診率】 R7 38.5% (第3期鎌倉市データヘル ス計画より)
	(4) 【継続】 受診期間の柔軟 な対応	受診推奨期間を過ぎても、健診実施期間内 （6月～翌年2月末）であれば、延長手続きなしに、受診可能。 また、受診推奨期間前に受診を希望される場合は、申請により受 診券を発行。 (受診推奨期間) 4～7月生：6～8月 8～11月生：9～11月 12～3月生：12月～翌年2月		【継続実施】	—
	(5) 【継続】 スポーツクラブ お試しクーポン券利用状 況	対象：特定健康診査受診者全員と動機づけ支援を受けた者 方法：アドバイスシート送付時に同封		対象：特定健康診査受診者全 員と動機づけ支援を受けた者 方法：アドバイスシート送付 時に同封	100名
	(6) 【継続】 人間ドック助成 事業	特定健診の受診対象者が特定健診に代え、人間ドックを受診した 時の費用の一部（上限額9,572円）を助成。	710名 ・指定医療機関：396名 ・窓口：314名	【継続実施】	
2 特定保健指導 利用率向上対策	(1) 【継続】 未利用者勧奨	①特定健診受診者 ・特定健康診査の結果説明時に健診担当医から生活習慣改善に向 けた、各種プログラムへの参加勧奨。 ・健診2カ月経過後、市の保健師・管理栄養士による電話による 利用勧奨。 ②人間ドック利用者 ・医療機関からの健診結果送付時及び人間ドック費用助成交付決 定通知送付時に「各種プログラム」を同封 ・市の栄養士・保健師による電話勧奨を実施。	①対象者 140名 架電数 延122名 利用者数 20名 (14.3%) ②対象者 922名 動機付け支援 183名 積極的支援 57名 (26.0%)	電話勧奨は、 令和7年8月～令和8年5月 未まで	利用率20%

(資料2) 国民健康保険の保健事業の令和6年度実績及び令和7年度の実施予定

事業名	事業名（詳細）	令和6年度の取組（実績）		令和7年度の取組み予定		
		実施内容	R6実績 (特定保健指導データ：R7.7.1現在)	実施方法及び変更点	目標値	
2 特定保健指導 利用率向上対策	(2) 【継続】 動機付け支援	・特定健康診査の結果、動機付け支援の対象となった者に対し、鎌倉市医師会に委託し、保健指導を実施。 ・人間ドック受診のうち、動機付け支援の対象となった者に対し市が保健指導を実施。	対象者 689名 利用者 183名 (26.6%) (ドック受診者2名) 終了者 52名 (28.4%)	保健指導期間：3か月 (令和7年6月～令和8年7月) ①初回面接 ②3か月後アンケート	令和7年度特定保健指導実施率 19.0%	
	(3) 【継続】 積極的支援	積極的支援の対象者が、生活習慣の改善に継続して取り組めるよう、自らの生活にとり入れやすい各種プログラムを設定。	対象者数 233名 (利用者：57名) (終了者：27名) (ドック受診者8名)	自らの生活にとり入れやすい各種プログラムを設定。オンライン対応1コースを設定。	—	
		Aおなかすっきり相談室	市保健師、栄養士による月一回3か月間の生活指導の実施	8名 男性 6名 (終了1名) 女性 2名 (終了1名)	保健指導期間：3か月 (令和7年6月～令和8年12月)	—
		Bスポーツクラブプログラム	市内及び近隣市のスポーツクラブを3か月間無料で利用し、運動習慣の獲得を図る	27名 男性 14名 (終了3名) 女性 13名 (終了5名)	①初回面接 (生活習慣改善目標と行動計画を設定) ②3か月間、A～Cのいずれかのコースを利用 ③3か月後アンケート ④必要に応じ、電話・メールによる支援を実施	—
		Cはかるだけダイエット (オンライン)	アプリと連携した健康測定機器を使用して、変化を自動的に見える化。スマホ・PCを使ったweb面接に対応。終了後のインセンティブ(ウェアラブル優待券)あり	22名 男性 14名 (終了4名) 女性 8名 (終了2名)	—	—
	(4) 特定保健指導従事者研修の開催(委託事業)	「動機付け支援」の委託先である鎌倉市医師会と協力し、対象者のモチベーションを維持し、効果的な生活改善を図ることを目的とした、動機付け支援従事者スキルアップ研修を開催。	実施なし (次回実施は令和8年度)	次回実施予定は、 令和8年度	—	
(5)【継続】医療機関による利用勧奨(レッドカードの配布)	担当医から健診結果説明時に、保健指導の必要性の説明と積極的支援プログラムの利用勧奨チラシ(レッドカード)を手交	配布数 73枚 (配布率 31.3%) 指導につながった数 19名(26.0%)	健診結果説明時	配布率35%		
(6) 【継続】アドバイスシート送付時の文書による通知	動機付け支援及び積極的支援対象者へ、健診実施2か月後に発送する「健康づくりアドバイスシート」送付時に勧奨チラシを同封	動機付け支援対象者 689名 積極的支援対象者 233名 (保健指導不可9名除く)	アドバイスシート送付期間 令和7年8月～令和8年4月	対象者全員		

(資料2) 国民健康保険の保健事業の令和6年度実績及び令和7年度の実施予定

事業名	事業名（詳細）	令和6年度の取組（実績）		令和7年度の取組み予定		
		実施内容	R6実績 (特定保健指導データ：R7.7.1現在)	実施方法及び変更点	目標値	
3 生活習慣病 重症化予防 (糖尿病重症化予防事業) R6 A早期予防型2名 B機器活用型0名 C腎症予防型1名 R5 A早期予防型4名 B機器活用型0名 C腎症予防型0名 R4 A早期予防型2名 B機器活用型0名 C腎症予防型0名	(1) 【継続】受診勧奨 (糖尿病重症化予防事業)	HbA1c6.5%以上の者	健診結果説明時に健診担当医から、必要に応じて糖尿病の受療勧奨及び保健指導利用勧奨チラシを配布	—	継続実施。令和7年6月～令和8年2月（健診結果説明時）	対象者全員
		HbA1c6.5%以上、かつ6か月以上レセプトが確認できない者	糖尿病の受療勧奨を電話により実施（実施者）管理栄養士、派遣保健師	対象者 86名 勧奨者 66名 架電回数158回	継続実施。令和7年10月～令和8年6月	対象者全員
		HbA1c7.0%以上、かつ糖尿病専門医への受診が見られない者	健診医療機関からの糖尿病の保健指導利用勧奨を依頼。あわせて対象者への個別通知も実施。	対象者 117名	継続実施。令和7年10月～令和8年6月	対象者全員
		「よろず相談」（食事・生活相談）	健診結果でHbA1c6.5%以上、受療勧奨、利用勧奨の際に希望があった者	希望者3名	継続実施	—
		個別通知（R6～）	受療確認できない者に電話による受療勧奨を実施。あわせて対象者リストを健診実施医療機関に送付	—	—	—
	(2) 【継続】早期介入型 機器活用型 腎症予防型	糖尿病の治療中の者に対し、重症化予防のための保健指導を実施。HbA1c等の検査値から階層化したプログラムの利用を設定し。主治医と連携した重症化予防を目指す。			—	—
		【早期予防型：（知ったコース）】 対象：糖尿病の受診中でインスリン治療をしていない者 かつ合併症がない又は軽度 内容：医療機関の管理栄養士による食事・生活指導（1回）			2名	15名
		【機器活用型（モニタリングコース）】 対象：糖尿病の受診中でインスリン治療をしていない者 かつ合併症がない又は軽度 内容：医療機関の管理栄養士による食事・生活指導（1回）、血糖モニタリング機器の活用（3か月間）			0名	15名
		【腎症予防型（保健指導3回）】 対象：糖尿病治療中で、eGFR60未満かつ尿蛋白1＋以上の者 内容：医療機関の管理栄養士による食事・生活指導（月1回×3か月）			1名	16名
	(3) 【新】ICT機器活用型 ※令和6年度から	活動量や睡眠、心拍数、血中酸素濃度などの数値を参加者が自ら確認できるウェアラブル端末を3か月間腕に装着。最初と最後の2週間、血糖値測定器リブレを装着し、オンラインで管理栄養士等による保健指導を実施。	9名 男性4名、女性5名の参加 40代：2、50代：3、60代：4名 ⇒9人中7名（77.8%）がHbA1cの変化で改善が見られた	継続実施。昨年度からの変更点としては、対象者に人間ドック受診者も含めた。	18名	